

令和3年度 第1回草津市総合教育会議 会議録（要旨）

■日時

令和3年10月19日（火）午前10時00分から午前11時30分まで

■場所

草津市役所8階 大会議室

■次第

1. 開会

2. 議題

(1) ≪報告≫緊急事態宣言発令期間のオンライン授業の実施について

(2) 地域社会の希望となる子どもの育成

～第3期草津市教育振興基本計画の推進に向けて～

3. 閉会

■出席委員

稲垣委員、松嶋委員、小辻委員、我孫子委員

■出席理事者

橋川市長、藤田教育長

■事務局出席者

橋川市長

総合政策部 木村部長、岸本副部長（総括）

まちづくり協働課 西山課長

教育委員会事務局 南川部長、作田理事（学校教育担当）、田中副部長（総括）、武村副部長（図書館担当）兼図書館長、菊池副部長兼学校教育課長

教育総務課 森下課長、永田係長

生涯学習課 上原課長

学校政策推進課 上原課長

大学生 水登氏

1. 開会

- 開会に当たり、市長より挨拶

2. 議題

- (1) ≪報告≫緊急事態宣言発令期間のオンライン授業の実施について

【事務局説明】

(資料1について説明)

【質疑応答・意見交換】

- 小辻委員 オンライン授業のためのルーターの貸与について1回目と2回目の件数に差があることについて教えていただきたい。
 - ・学校政策推進課長 家庭でルーターを借りる台数を調整されたからだと思われる。
- 松嶋委員 双方向の授業ができないのであれば、録画しておいたものを配信するという方法でも良いのかと感じた。また、授業で使うテキストを先生が各児童の家まで配布する光景があったが、おそらく著作権の関係などで画面共有ができないことが原因なのかと感じた。
 - ・学校政策推進課長 オンライン授業実施当初は、デジタル教科書等が使用できなかったが、9月4日からは授業目的公衆送信補償金というものを支払い、デジタル教科書や著作物をオンラインで使用できるようになった。
- 稲垣委員 草津市は、早くから職員研修やオンライン授業の模擬体験などをした成果が見えていると感じた。しかしながら、一方的な授業だと、画面の向こうで児童や生徒は何をしているか見えず、また、授業をしている以上、評価が絡んでくるなどの課題がある。
- 小辻委員 大学の講義科目に関しては、ビデオのみでも満足度が高いという声があった。ビデオ配信をすることで先生方の負担増加にならないよう、ビデオの作り方の講座などがあると、先生方もやりやすいかと思う。
- 我孫子委員 オンライン授業を進めるに当たり、研修会や準備などがさらに必要になってくると思うため、この辺りのスケジュールを上手く組んで進めていただきたい。
- 教育長 今回の特例の日課では、感染症対策と学びの保障の2点で給食という一番リスクが高い時間を回避して、昼からはオンライン授業で学びを止めないという目的のもと、実施していたが、その2点の目的以外にもいろいろな相乗効果があった。しかしその反面、授業の評価をどうするか、子どもたちがどういった態度、状況でオンライン授業を受けているのか、アンケートではオンライン授業がわかりにくいなど課題がある。また、今回のオンライン授業でほかの先生の授業風景を見ることができ、先生方のスキルアップや良い研修の場になったと聞いており、今後は、校内研修にオンライン授業を使っていたく

ことも良いかもしれない。先生方の負担にならないように、留意しながら草津市の教育水準のレベルを全体にどうやって上げていくのかというところを大事にして、しっかりと取り組んでいきたい。オンライン授業はこれで終わったわけではないため、情報リテラシーやモラル教育を併せてやっていきつつ、タブレットを月に1回は必ず持ち帰っていただきたいと考えている。

- 市長 草津市のオンライン授業は、これまでの積み重ねが生きてきたと思う。双方向授業など様々な課題もあるが、今後、全国のモデルになるようなオンライン授業を草津市から発信していけるようにお願いしたい。

(2) 地域社会の希望となる子どもの育成

～第3期草津市教育振興基本計画の推進に向けて～

【事務局説明】

(資料2について説明)

【質疑応答・意見交換】

- 市長 説明にあった3つの力以外で磨かれた力はあるか。また、キックボードで東京に行ったときやレッドブルの大会のときのメンバーは、どのようにして選ばれたか。
 - ・水登氏 キックボードのメンバーは幼馴染3人で、レッドブルの大会は幼馴染1人と高校の友人である。また、ディベートで自分自身が話したことに対して、相手がどのようなことを答えてくるのかを常に考えていたところは仮説を立てて検証して発言していく、行動するといったところにも通ずるものがあったと思う。
- 稲垣委員 小学校のときに力をつけたものがあれば教えていただきたい。
 - ・水登氏 小学校のときは、E S D自体がわかっていなかったと思うが、パナソニックに足を運んだ時に、身近なところからできることがあると教えていただいたことで、中学校の時に環境問題に対して、取り組むことができたと思っている。
- 松嶋委員 旅をしていると、予想外な出来事があったと思うが、新たに学べた視点などがあれば教えていただきたい。
 - ・水登氏 交渉の際、断られることが何度もあったため、何が悪いか考えたとき、相手のことをもう少し考え、需要と供給を満たせるように改善策を考えた。
- 松嶋委員 何が正しい情報か見極めることは大人でも難しい中で、情報を見極めていく能力をどのように教育していくか少し気になった。また、最初の情報収集が間違っていれば明らかに違う方向に向かっていくため、何か考えがあれば聞かせていただきたい。
 - ・水登氏 E S Dの良さは、実際に話を聞いたり、実際に足を運んだりすることでより良い生の情報を得られるところである。だからこそ、社会人になっても自分自身で情報を取りに行きたい。

- ・学校教育課長 学校現場では、最初は地域にしっかりと目を向け、その中から地域の課題を見つけ、解決していく学習を展開していきたい。
- 稲垣委員 総合的な学習の時間を有効なものにするには、教師自体の力量が問われているように感じており、そういった点で、指導主事1名、教員OB1名を置いていただくことは良いことであり、地域との連携においてもその役割を担ってほしい。また、総合的な学習の時間はあまりないため、休日に親御さんとどこかに行くなど、間の時間をつなぐ必要がある。なお、ESDで身についた力と教科との関連をしっかりと明記するなど、今まで点でやっていたことが線となり面になるよう令和8年度の間目標に向けて進めてほしい。
- 小辻委員 ホームページによる発信だけではやはり足りないのではないかと思う。しっかり発信することで子どもたちに達成感と肯定感をしっかり身につけてもらうことがこの教育の中で一番重要なことかと思う。
- 我孫子委員 ESDについて一般の方や地域の方々には知られてないのか、わかっていない方が多いと思うため、何か広めていけるような機会をつくってほしい。
- 市長 このESDカレンダーは各学校別、学年別で全員が作るというやり方なのか。
- ・学校教育課長 ESDは、各学校、学年ごとに学習時間にテーマがある。また、他教科との関連も必要になるため、それに沿った流れで作っていくことを想定している。
- ・市長 学校としての大きなテーマがあり、それに対しての各学年別の作り込みをしていくのか、各学年がそれぞれのテーマで作っていくのか、学校と学年との関係はどのような見解を持っているか。
- ・学校教育課長 学校によっては各学年がそれぞれのテーマで総合的な学習を進めている学校はあるが、それでは統一することが難しくなるため、ESDカレンダーの作成時に担当の窓口を中心とし、学校の大きなテーマに沿い、各学年がどのように総合的な学習の時間を進めていくかを考えていく。
- ・市長 テーマの幅を広げた展開の方が個々の先生の思いや能力をより活かすことにつながっていくように思うため、地域の課題を地球規模の課題と結びつけて取組を行うことで、先生の個々の特性や能力を十分に発揮していただきたい。
- 教育長 ESDの考え方は様々あるため、テーマを1つに絞るのではなく、学校の教育目標につながるようなテーマで取り組んでいただきたい。また、既に取り組んでいる地域との連携もあるため、そこはしっかりと大事にし、最初のテーマづけを丁寧に決めていく必要がある。
- 稲垣委員 「学校を知ってもらう」から「ともに経営していく」への移行とあるが、地域の方が経営に参加することは難しかったと自分は感じる。また、「社会をよりよく変えていける」と実感できるところまで地域協働合校や生涯学習課がバックアップをすることが総合的な学習を支える大事なポイントではないかと思う。
- 教育長 どのように地域と関わっていくのか、どのように地域の支援を行っていくのか

か、また、地域住民の方や教育機関、いろいろな施設もあるため、そういったところにもどのように連携していけるのかも非常に大事である。市役所全体でしっかりと連携を深め、そういった学校体制にしていきたい。

水登さんの草津に帰ってきて皆で起業したいという気持ちはどこから生まれたのか。

- ・水登氏 草津市で育ったからこそ出会えた友人とともに、会社を大きくし、自分たちのまちをより良くしていきたいという思いがある。
- ・教育長 郷土愛が確かに感じられ、そういったことは非常に大事だと思う。今の時代、副業などの方法もあるため、今後、地域に貢献していただきたい。

総括

- 教育長 様々な意見をいただいたが、特に伝えていくということは、教育における市民や保護者の皆さんの信頼度を高めていくことになるため、地域にも協力していただくことが、E S Dをますます広めていく基盤になるのではないかと思う。
- 市長 先行き不透明な時代ではあるが、このE S D教育を通じて、問題意識を持ち、自らが行動する子どもが育つように教育をしていきたい。そのために、先生方も磨きをかけ、子どもたちの能力を引き出すような展開をしてほしい。また、子どもたちの励みにもなるため、さらに工夫をし、新聞やテレビで取り上げられるように教育の中身を作り上げていけるよう市を挙げて、教育委員会共々頑張って参りたい。

3. 閉会

- 閉会に当たり、市長より挨拶